

屋上・ベランダ・バルコニーなどの屋外防水に！

防滑
仕上げ

ウレタン
樹脂配合

人気の
遮熱
トップコート

防水層
が厚い

ひび割れ
に強い

一液水性
においが
少ない

Mizuha



水性ウレタン防水材

一液水性ウレタン防水材



特長

1 高い安全性

- ・水性なので火気に対する心配がなく、安心して使えます。
- ・油性塗料のような嫌な溶剤臭もなく、安全・容易に扱えます。

2 優れた作業性

- ・ハケ、ローラーのみで簡単に塗れます。
- ・平面のみならず、立ち上がり、出隅・入隅の施工も容易です。
- ・乾燥が早いので作業性が良好です。

3 優れた防水性

- ・厚膜で耐触性、耐水性などに優れています。
- ・塗膜に伸縮性があり、下地に追従します。
- ・上塗りを塗装することで耐候性が向上します。

4 防滑仕上げ

- ・ミズハ本材は、骨材入りのノンスリップ仕様のため、雨の日も滑らずに安心です。

5 いろいろな素地に対応

- ・モルタル、コンクリートなどの素地面から旧塗膜の塗り替えまで、様々な素地に対応します。
- ・モルタル、コンクリート、コンパネ、旧塗膜の塗り替え（ウレタン防水、アスファルト防水、ゴムシート、塩ビシート、FRP防水面）など。

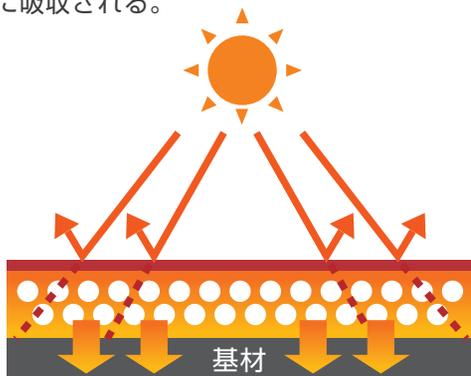
用途 | 屋上・ベランダ・バルコニーなどの防水

遮熱性 — 高い日射反射率 —

- 近赤外線領域の太陽光を効率よく反射することにより、優れた遮熱性能を発揮します。
- 塗膜表面の遮熱効果により、居住空間のエネルギー効率の向上に寄与します。

一般塗料

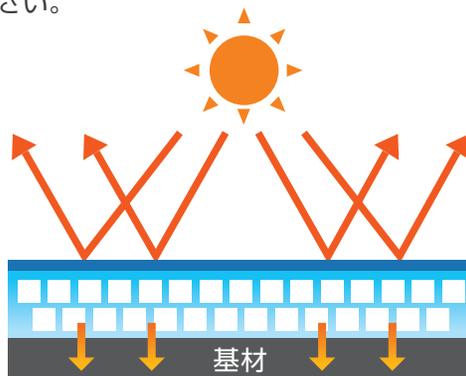
赤外線の反射が小さく、塗膜上に発生した熱が下地に吸収される。



透過熱が多い

遮熱仕上塗料

赤外線の反射が大きく、熱の基材への吸収度が小さい。



透過熱が少ない

EF ミズハ遮熱トップ(色名:シルバーグレー、明度値=62)の試験結果

測定結果例 (下地: カラータン板)

日射波長域	波長範囲	反射率
近紫外および可視光域	300~780nm	34.9%
近赤外域	780~2500nm	63.4%
全波長域	300~2500nm	48.8%

*) 明度=62.3:CIE L*a*b (1976) D65/10°/SCI
 *) 測定機器: 株式会社日立テクノロジー社製 U-4100 分光光度計

Mizuha シリーズ 商品一覧

下塗り材

EF ミズハ専用シーラー



- 2kg
塗り面積 (㎡/回)
10~13㎡
- 4kg
塗り面積 (㎡/回)
20~26㎡
- 15kg
塗り面積 (㎡/回)
75~100㎡

コンクリート・モルタル、旧防水塗膜の塗り替えに使用出来る密着力の高い高性能シーラーです。
※FRP、塩ビシートは不可。

EF 塩ビシート用プライマー



- 溶剤系
- 4kg
塗り面積 (㎡/回)
20~26㎡
 - 15kg
塗り面積 (㎡/回)
75~100㎡

塩ビシート用のプライマーです。

本材

EF 水性ウレタン防水材ミズハ本材



- 18kg
塗り面積 (㎡/2回)
9~11㎡

骨材が入っているので簡単にノンスリップ仕上げにすることができます。屋上、ベランダ専用です。(軽歩行可能)

トップコート

EF ミズハ遮熱トップ



- シルバーグレー
- グリーン
※15kg 缶のみ

従来の弊社製品「ミズハトップG」と比べて、最大約10℃塗膜の表面温度を下げるすることができます。

- 2kg
塗り面積 (㎡/回)
10~13㎡
- 4kg
塗り面積 (㎡/回)
20~26㎡
- 15kg
塗り面積 (㎡/回)
75~100㎡

EF ミズハトップS



- シルバー
- 15kg
塗り面積 (㎡/回)
75~100㎡

紫外線による劣化、色あせを防ぎます。耐久性に優れています。

※製造ロットにより若干色が異なる場合があります。

塗料と塗装用具がそろった便利なセットをご紹介します

塗り面積
約9~11㎡

FRP防水面用



ミズハ **3** 缶 | 22kg セット + 塗装用具 **10** 点セット

ミズハ **3** 缶 | 22kg セット + FRP用具 **12** 点セット

※用具のセット内容は在庫状況により変更となる場合がございます。

施工には3種類の塗料が必要になります

下地によって処理が違います。施工場所の下地に合わせて処理してください。

Step.1

下地処理 (清掃)

コンクリート・モルタルの場合

- 下地が新設コンクリートの場合は打設 4 週間以上経過している事を確認してください。
- コンクリート・モルタル面で下地の凹凸、段差、ひび割れ（クラック）が発生している場合は、ウレタン系シーリング材や樹脂モルタル等の下地調整材で補修してから施工してください。
- コンクリート・モルタル面で吸い込みが激しい場合は、ミズハ専用シーラーを 2～3 回塗りしてください。

旧防水塗膜の塗り替えの場合

- 既存の塗膜に浮き・膨れ・剥がれ等が発生している場合は下地調整（除去等）をしてから施工してください。

ゴム系シートの場合

- 下地のシートに浮き・膨れ・剥がれ等が発生している場合は、施工前にシートの補強が撤去が必要となります。

FRPの場合

- 電動サンダー又は #80～100 のペーパーによる研磨・目粗しが必要です。
- アセトンによる脱脂（油膜除去）が必要です。

塩ビシートの場合

- 下地のシートに浮き・膨れ・破損等の不具合がある場合は施工を避けてください。
- 塩ビシート面の場合は、EF 塩ビシート用プライマー（溶剤系）による下塗りが必要です。

Step.2

シーラーを塗る

- 容器を十分に攪拌し、希釈せずに使用します。
- ウールローラー（中毛）を使用し、塗装面に適した専用シーラーを塗ってください。
- 専用シーラーが透明になるまで十分に乾燥させます。専用シーラーは乾燥したら、そのままの状態にせずに、その日のうちに本材を塗ってください。

※ Mizuha 専用シーラーが FRP 防水面にも使用できるタイプになりました。



ウールローラー
中毛を使用します

※事例写真の下地はシートです

Step.3

本材を塗る

- 容器を十分に攪拌し、希釈せずに使用します。
- 砂骨ローラー（細目）を使用し、2回塗りします。
- 1回で厚付けすると乾燥が遅くなり、乾燥後の割れ等の不具合が生じる恐れがありますので、ご注意ください。

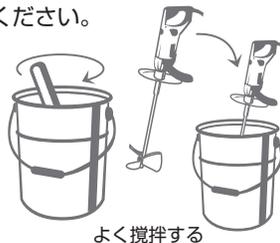
何日かに分けて作業をする場合

1日目

専用シーラー
+
本材 1 回目

2日目

本材 2 回目



よく攪拌する



砂骨ローラー
を使用します

Mizuha 専用ローラーを推奨

※ 2 回目を塗るまでに時間があく場合は、砂骨ローラーを塗料につけておき乾燥を防いでください。バケツも大きなポリ袋などで密封しておくといでしょう。

Step.4

トップコートを塗る

- 容器を十分に攪拌し、希釈せずに使用します。
- ウールローラー（中毛）を使用し、トップコートを塗ります。
- 紫外線などによるひび割れや色あせを防ぎます。



ウールローラー
中毛を使用します

Step.5

完成

- 防水に加え遮熱効果もあります（遮熱トップの場合）。
- 塗りの作業すべてがローラーで出来るので、ビギナーでも簡単に施工ができ、キレイに仕上がります。

塗装仕様

コンクリート・モルタル打設・旧塗膜塗り替え仕様

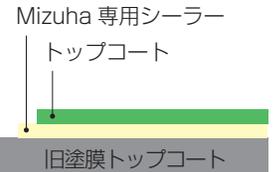
工程	材料名	塗布量(kg/m ²)	塗装間隔(25℃)	塗装用具
① 下地処理	施工手順・施工上の注意事項をご確認ください。			
② 下塗り材	Mizuha 専用シーラー	0.15～0.2	1時間	ウールローラー中毛
③ 本材(1回目)	Mizuha 本材	0.8～1.0	1時間	砂骨ローラー細目
④ 本材(2回目)	Mizuha 本材	0.8～1.0	2時間	砂骨ローラー細目
⑤ 上塗り材	各種トップコート	0.15～0.2	-	ウールローラー中毛

- 下地が10年以上あるいは吸い込みが著しい場合はEFミズハ専用シーラー2度塗りを推奨します。
- アスファルト防水の場合はEFミズハ専用シーラー2度塗りを推奨します。



旧塗膜トップ塗り替え仕様

工程	材料名	塗布量(kg/m ²)	塗装間隔(25℃)	塗装用具
① 下地処理	施工手順・施工上の注意事項をご確認ください。			
② 下塗り材	Mizuha 専用シーラー	0.15～0.2	1時間	ウールローラー中毛
⑤ 上塗り材	各種トップコート	0.15～0.2	-	ウールローラー中毛



FRP 塗り替え仕様 (FRP 防水面)

工程	材料名	塗布量(kg/m ²)	塗装間隔(25℃)	塗装用具
① 下地処理	施工手順・施工上の注意事項をご確認ください。			
② 下塗り材	Mizuha 専用シーラー	0.15～0.2	1時間	ウールローラー中毛
③ 本材(1回目)	Mizuha 本材	0.8～1.0	1時間	砂骨ローラー細目
④ 本材(2回目)	Mizuha 本材	0.8～1.0	2時間	砂骨ローラー細目
⑤ 上塗り材	各種トップコート	0.15～0.2	-	ウールローラー中毛

- 研磨後の粉末は残さず除去してください。
- ゴミや油分が付着していると不具合の原因となりますのでご注意ください。



塩ビシート塗り替え仕様 (塩ビシート防水面)

工程	材料名	塗布量(kg/m ²)	塗装間隔(25℃)	塗装用具
① 下地処理	施工手順・施工上の注意事項をご確認ください。			
② 下塗り材	EF 塩ビシート用プライマー	0.15～0.2	1時間	ウールローラー中毛
③ 本材(1回目)	Mizuha 本材	0.8～1.0	1時間	砂骨ローラー細目
④ 本材(2回目)	Mizuha 本材	0.8～1.0	2時間	砂骨ローラー細目
⑤ 上塗り材	各種トップコート	0.15～0.2	-	ウールローラー中毛



※金属面には、変成エポキシ樹脂などの錆止め処理を施した上、塗装してください。

※軽カル面には「EFミズハ専用シーラー」又は、各メーカーの軽カル用シーラーをお使いください。

施工事例



施工前

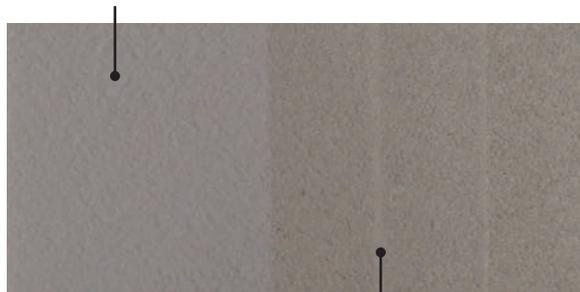


施工後



■ 仕上がりは凹凸のあるノンスリップ型！

EF ミズハ遮熱トップ (シルバーグレー)



EF 水性ウレタン防水材 ミズハ本材 (ダークグレー)

取り扱い上の注意事項

施工上の注意

- 下地処理 (塗装面の油分・汚れ・塵埃・脆弱塗膜の除去) はしっかりと行ってください。
- 下地が濡れている場合は施工できません。十分な乾燥を確認してから施工してください。
- 施工前に必ず容器を十分に攪拌し、中身を均一な状態にして塗装してください。
- 塗装面積は、下地の状態や塗り方により増減します。
- 製造ロットにより若干、色が異なる場合があります。
- ミズハシリーズは全て無希釈です。希釈せずにそのまま使用してください。
- シーラーとトップコートは中毛ローラー、ミズハ本材は細目砂骨ローラーにて施工してください。
- 一度に厚付けすると乾燥後に割れ等の不具合を生じる恐れがありますので規定量を守ってください。また、逆にローラーでしごき過ぎると塗膜が規定の厚さにならない場合がありますのでご注意ください。
- 重ね塗りをする場合は、下地が完全に乾燥していることを確認してから塗装してください。
- 何日かに分けて施工する場合は、シーラー塗装後にミズハ本材の1回目塗装まで同日中に必ず行ってください。シーラーだけで終わらせると雨等が降った場合に密着力が著しく低下します。
- 降雨・降雪や高湿・結露が予想される場合は施工を避けてください。
- 気温が5℃以下の場合は塗装を避けてください。また夜間凍結が予想される場合も塗装を避けてください。塗膜の剥離・膨れの原因となります。
- ミズハシリーズは防水用製品です。各製品の定められた用途以外には使用しないでください。

使用上の注意

- 他の塗料との混合は絶対に行わないでください。
- 取り扱いは、換気の良い場所で行ってください。
- 容器からこぼれた場合には、密閉できる容器に回収したのち処理してください。
- 使い終わった用具類は、直ちに水で洗浄してください。
- 使用後は容器の蓋を必ず閉めてください。
- 取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- 出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護手袋・保護メガネ・保護マスクを着用してください。また、作業の安全のためヘルメット等の着用をおすすめします。
- 皮膚に付着した際には、水でよく洗い流し、痛みや外傷が生じた場合には医師の診断を受けてください。
- 誤って目に入った場合は、多量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

保管上の注意

- 長期保存はできません。開封後はできるだけ早く使い切ってください。
- 湿気のない場所を定めて保管してください。
- 気温5℃以下または凍結の恐れのある場所での保管は避けてください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。

※仕様などは予告なしに変更することがございます。ご了承ください。
※ご不明な点などありましたら、お問い合わせください。

販売元

株式会社ダイワ

〒350-1331

埼玉県狭山市新狭山1-12-1

TEL : 04-2954-6909